

令和5（2023）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第5回 実施報告

実施日：令和5（2023）年 10月 17日（火）

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第5回研修は、午前は講話・演習「課題解決のための思考法」、午後はグループ研究③「調査結果の分析と考察」を行いました。

講話・演習「課題解決のための思考法」

聖心女子大学現代教養学部人間関係学科 教授 大槻 奈巳 氏

大槻氏は、「職業社会学」「労働とジェンダー」「キャリア形成」を専門としており、課題の解決に必要な思考のプロセスや男女共同参画の視点による地域課題の解決に取り組む上で大切にすべきことについて話をいただきました。

前半の講話では、課題解決のためには、まず、社会の構造を知ること、前提を疑い一次データをきちんと確認することなど、受講者にとって新しい視点をいただくことができました。また、受講者がフィールドワークの中で集めたデータが一次データになることや、実際に話を聞くことの大切さ、状況を分析し考察することなどについても話されました。

後半の演習では、NPO 活動者の事例について、グループごとに分析を行いました。受講者は事例分析等により、これまでの経歴の中で得た経験や知識、仲間とのつながり、家族の協力、諦めない思いなど、地域の課題解決に取り組む上で必要なことや大切にすべきことを確認することができました。今までの経歴やネットワークが地域課題の解決に取り組む上で生きてくることがわかり、地域で活動していく思いがさらに高まったようです。



グループ研究③「調査結果の分析と考察」

総合教育センター職員

午後のグループ研究では、始めに、図書資料室と学習情報センターの見学を行いました。調査結果の分析・考察、まとめを行ったり、地域で活動をしたりする際に参考となる資料や情報を得られることを知りました。

次に、調査や研究を進めるにあたっての留意点を確認した後、今までに調査した結果の分析と考察及び次回のグループ研究までに調査したいことの確認などを行いました。

アンケート結果の集計では、エクセルを使ってまとめて全体の傾向を確認したり、クロス集計をどのように行うか考えたりすることができました。グループ研究も3回目となり、グループでの話し合いに積極的に参加する姿が見られました。グループで意見が分かれたときには、「ねらい・目的」と「計画」を確認し、意見のすり合わせを行いました。

振り返りでは、グループごとに今回の活動のまとめを行い、次回に向けた見通しを確認しました。



<受講者の感想から>

- 大槻先生の講話での事例が具体的で、「あきらめない」という気持ちが1つの道筋になっていくのだと改めて感じることができました。また、先生のお話の中にも、いろいろと今後のヒントになる言葉があり、とても興味深かったです。
- 課題解決のための思考法が具体的な事例を使ったことでわかりやすかったです。また、アンケートの効率的な集計の仕方を学びました。子育てに関する悩みが浮き彫りになりました。
- 「切り開く力」について学び、自分がどうしていきたいか、自分の強みを考えようと思いました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp